

地下水バイパス揚水井の汲み上げにおける一時貯留タンク に対する評価結果について

<参考資料>
 2024年12月6日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

【各揚水井のトリチウム濃度(Bq/L)】

	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	No. 10揚水井運転状況
2015. 11. 12(木)	6.9	/	12	/	50	/	37	/	採水なし	2000	720	/	汲み上げ中
2015. 11. 16(月)	/	8.4	/	24	/	66	/	採水なし	/	2800	/	220	汲み上げ中
2024. 10. 31(木)	19	/	※3	/	8.1	/	18	/	84	160	140	/	汲み上げ中
2024. 11. 4(月)	/	※3	/	※3	/	8.8	/	※3	/	170	/	130	汲み上げ中
2024. 11. 7(木)	5.3	/	※3	/	6.1	/	18	/	79	170	140	/	汲み上げ中
2024. 11. 11(月)	/	※3	/	※3	/	10	/	※3	/	160	/	120	汲み上げ中
2024. 11. 14(木)	9.9	/	※3	/	3.6	/	18	/	78	170	140	/	汲み上げ中
2024. 11. 18(月)	/	※3	/	※3	/	11	/	※3	/	160	/	120	汲み上げ中
2024. 11. 21(木) ① ※1	14	50	85 ^{※4}	120	4.3	11	15	63	72	170	150	120	汲み上げ中
2024. 11. 25(月) ② ※2	14	50 ^{※4}	85	120 ^{※4}	4.3	12	15	63 ^{※4}	72	170	150	120	汲み上げ中
トリチウム上昇傾向評価用 ③	14	50	85	120	4.3	12	15	63	72	970	150	120	

※1 No. 10以外については隔回でサンプリングを実施しており、サンプリングの無い回 (No. 2、No. 4、No. 6、No. 8、No. 12) は至近の分析結果に基づいて評価している。

※2 No. 10以外については隔回でサンプリングを実施しており、サンプリングの無い回 (No. 1、No. 3、No. 5、No. 7、No. 9、No. 11) は至近の分析結果に基づいて評価している。

※3 汲み上げおよびサンプリングを停止しており、当該ピットの濃度を一時貯留タンクの濃度評価に用いていない。

※4 今回の評価期間においてサンプリングが実施できなかったため、至近の分析結果を用いた。

【各揚水井の汲み上げ比率】

	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	計
汲み上げ比率 ④ ※A	0.8014	0.0000	0.0000	0.0000	0.0036	0.0401	0.0302	0.0000	0.0846	0.0082	0.0020	0.0298	1.0000

※A No. 1～12: 11/24(日)～11/25(月)の汲み上げ実績をもとに算出している。表記は小数点第五位を四捨五入した値。

【評価結果(一時貯留タンクのトリチウム濃度(Bq/L))】

	各揚水井の評価値												一時貯留タンク内 トリチウム濃度
	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	
2024. 11. 18(月) ※B	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	0.0	6.7	1.7	0.6	3.7	21.6
2024. 11. 21(木) ①×④	11.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.5	0.0	6.1	1.4	0.3	3.6	23.5
2024. 11. 25(月) ②×④	11.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	6.1	1.4	0.3	3.6	23.5
トリチウム上昇傾向評価用 ③×④ ※C	11.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	6.1	7.9	0.3	3.6	30.1

※B 参考(前回評価結果)

※C 「トリチウム上昇傾向評価用」とは、No. 10において、2015年の11/12から11/16までの上昇傾向が継続したことを仮定し、トリチウム濃度を評価したものだ。